

骨子案にいただいたご意見

前回の廃棄物減量等推進審議会にてご審議いただきました一般廃棄物処理基本計画骨子案について、その後、廃棄物減量等推進審議会の委員 1 名と廃棄物減量等推進員（クリーンメイト）2 名から、次（表の左欄）のご意見をいただきました。

いただいたご意見に対する事務局の考え方は、右欄のとおりです。

No.	意見	事務局の考え方
1	<p>前回のごみ処理基本計画で打ち出された市と市民、事業者による協働と云う理念のアピールが今計画では、やや薄くなっている、と感じます。</p> <p>今計画の期間中に家庭ごみ有料化という、大きな節目を迎えるだけに、ごみ問題に対する問題意識を、今まで以上に、市と市民とで共有する事が大切と思われまます。</p>	<p>今期の計画では、「協働」の言葉に替えて、市民・事業者それぞれの立場から、その「役割」に応じたかたちで 3 R の推進等に向けた取り組みをしていただく必要があることを、素案 2 2 ページからの「第 4 章」で記載しております。</p> <p>ごみ問題に対する市と市民・事業者との意識共有については、ご指摘のとおり、重要であると考えております。問題意識の共有について、素案 2 8 ページに記載しました。</p>
2	<p>7 ページの多摩 2 6 市との推移比較では可能であれば、ごみ有料化を実施している 2 1 市と実施されていない残りの市を分けて、グラフ化出来れば、と思います。</p>	<p>各市の有料化実施時期がまちまちであるため、グラフ化は困難ですが、素案では 2 6 市 3 町 1 村中の順位を記載しました。（8 ページ）</p> <p>なお、平成 2 4 年度実績ベースでの有料化実施済み市と未実施の市の平均値を、素案 1 3 ページに記載しました。</p>
3	<p>今回のアンケート調査によって、雑がみ、プラスチック、未利用食品の三品目が問題の多い事が判明しておりますが、特に未利用食品の占める割合に驚かされます。未利用食品の中身・実態はその推定金額ベースの公表を含めて、強くアピールされるべきだと思います。</p> <p>又、雑がみに関しては広報が不足、無駄に燃えるごみとして分別されているのではないのでしょうか。雑がみという名称にも一工夫が必要です。雑がみ・一般がみという表記も見受けられましたが、例えば資源用雑がみ（名刺サイズより大）などベタな名称ですが、如何でしょうか。</p> <p>なにはともあれ、今後の強力な広報が期待されます。</p>	<p>未利用食品の廃棄量の削減については、素案 1 0 ページと 2 6 ページに記載しております。市民向けの啓発としては、今年 6 月 2 0 日発行の市報特集号で掲載しましたが、今後も啓発を継続するとともに、効果的な手法についても検討していきたいと考えております。</p> <p>雑がみについては、ごみと資源の出し方パンフレットで写真付きで掲載しているほか、前出の市報特集号でも掲載しましたが、今後も引き続き啓発に努めていきます。</p> <p>また、名称については、分別が徹底されていない方もおられる一方、すでに多くの市民に「雑がみ」という名称で定着しているものとも考えられますが、ご指摘のとおり、より分かりやすい名称とすることも今後の検討課題としていきたいと考えております。</p>

4	<p>実施スケジュールに関して、平成30年からの3市共同処理施設の稼働のタイミングに家庭ごみ有料化・戸別収集への移行を合わせる必要があるのでしょうか？そのほうが広報がしやすいのか、または一気に実施する事で市民に浸透しやすいのか。</p> <p>家庭ごみ有料化については、相当程度、市民への丁寧な説明・広報が必要と思われませんが、市長の今期の公約もあり、準備の時間がタイトにならざるをえない、と思います。</p> <p>家庭ごみ有料化と戸別収集は1～2年ずらしては如何ですか。</p>	<p>家庭ごみ有料化の第一の目的は、排出者である市民の意識向上（改革）であると考えており、資源化の拡大（全量容器包装プラスチックの資源化）と収集方法の変更（戸別収集への移行）をあわせて実施することで、市民に強く印象付け、意識向上の効果を大きくできるものと考えております。</p>
5	<p>基本計画から離れますが、前回の審議会で女性委員の方が家庭でのごみ処理小冊子の全戸配布を主張されていましたが、是非、来年度実施の為の予算化をお願い致します。</p>	<p>現在、検討中です。</p>
6	<p>更に、ヘラスンジャー（生きカエル？）の話題も出ましたが、とにかく暗い、重たい、煩わしい、と受けとめられやすいゴミ問題をアピールするイメージ・マスコットとしてのキャラクターはもっと活用してゆくべき、と思います。</p> <p>できれば、3市共同を強調する為に、3市で共用できる、統一キャラクターが出来れば、と思います。</p>	<p>生きカエルやそのバリエーション（ヘラスンジャーなど）については、今後もイメージ・マスコットとしての活用をしていきます。このことについて素案25ページに記載しました。</p> <p>3市共同資源化事業の統一キャラクターについては、4団体の協議の中で検討を進めていきます。</p>
7	<p>一般ゴミ戸別収集については、集合住宅の場合は玄関先迄の収集は不可能でしょう。戸別対象のみのような気がします。（要・考）</p>	<p>戸別収集について、現時点では、他市で実施しているように、戸建住宅については1戸ずつ、集合住宅については1棟ずつ収集することを想定しています。</p>
8	<p>有料化について</p> <p>隣接都市からの不法投棄が増え、排出者の責任明確化に直ちにつながらないと思います。まして有料となれば分別についても“適当”が増えると思います。</p>	<p>一般的に、家庭ごみ有料化と戸別収集を実施している市から、実施していない市の集積所への越境ごみ（不法投棄）が起こることは想定されますが、逆方向の越境ごみは発生しにくいと考えています。</p> <p>分別については、ごみを有料とし、資源物を無料（またはごみより安価）とする場合、経済的な動機から、分別徹底の効果があるものと考えています。</p>
9	<p>食料生ゴミの肥料化を増加させ、単なる焼却を減ずるよう一層の努力を。焼却量が相当減ると思います。（生ゴミ収集量はかさむけど）</p>	<p>生ごみの減量（食物資源の資源化推進）については、素案26ページに記載のとおり、今後いっそう進めることを考えております。</p>

10	<p>分別（全てについて）についてはわかり切ったことでも、繰り返し啓蒙、PRする必要ありと思います。</p>	<p>ご指摘のとおりと考えます。</p> <p>素案25ページに「さまざまな市民の学習や啓発活動を継続的に行うこと」を記載しました。</p>
11	<p>どんなに立派な骨子案が作成されても、永住でない外国人が増加していく現況、特に資源物等、減量どころかと感じています。</p> <p>人口及び世帯数（外国人登録者数を含む）</p> <p>平成24年度（2012年度）は人口も、世帯数も増加になっています。外国人の数が、出ていけばいいのと思いました。益々外国人が、転入してくる社会情勢です。難民受入れの話も出ている時です。「小平市ごみ減量対策課」はごみを出す市民を対象としているのですから、市民課と密に連携して、もっと外国人に対して厳しい対処をお願いいたします。小さなアパートですが、外国人の入室が多くなり、ごみ処理に対する認識は、ゼロと云ってもいい位です。</p>	<p>外国人住民・外国人登録者数の推移は、計画書の資料編に掲載する予定です。</p> <p>また、外国人に向けては、今後、外国語版のパンフレットの作成を行いたいと考えています。（素案25ページ）</p>